



# Café JAPONES

- DE -  
**K. UCHINO**  
 Las Heras 667 - Tucumán



カフェ  
 ハポネス  
 内野 清  
 ツクマン市  
 ラス・エラス街 六六七

# KATSUDA y Cia

IMPORTADORES



U. T. 38 Mayo 2313  
**Calle MEXICO 1474**  
 Buenos Aires

# Sadao Hattori

IMPORTADOR

Especialidad en artículos de  
**CEPILLERIA**

**Calle LINIERS 649**  
 U. T. 45, LORIA 3218  
**BUENOS AIRES**

# TALLER GRAFICO NIPPON

**Santiago del Estero 975**  
 U. T. 23 - 7864

西文活版印刷  
 便箋・封筒・名刺  
 其他各種  
 技術優秀・迅速確実  
 價格低廉  
 電話にて御一報次第  
 参上致します  
 ニッポン堂印刷所  
 北川 稔

# TINTORERIA "BOTAFOGO" DE K. FUNAI

Tañir trajes y vestidos . . . . . \$ 8.-  
 Planchar trajes . . . . . \$ 2.-  
 Sombreros . . . . . \$ 0.70

Consultar precios en las mismas  
**SALON DE ESPERA**

**ENTRE RIOS 215 - U. T. 38, Mayo 7740**

Suc. Sarmiento 1900  
 U. T. 47 (Cuyo) 0984

帽子洋服クリーニング  
 最新のシステムに依り最も  
 迅速廉價に仕上げます  
 ティントレリア  
 ホタフオーゴ  
 本店市内エントリオ街二五  
 電話マヨ七七四〇番  
 支店市内サミエト街一九〇番  
 電話クイヨ〇九八四番  
 府内喜平

# GRAN BAR COLON

de Manuel Gomez

御酒其他の御飲料は  
 一切品質本位  
 正真正銘保証付  
 午右三時より「ヴァリエ」  
 同幕、二組のオルケスタ  
 は「タンゴ」と「ジャズ」の曲目  
 取りませ毎夜一時まで大  
 車輪で演奏致します

**Leandro N. Alem 622**  
 U. T. 31 (Retiro) 1828

# JIRO HONDA & Hno.

Importadores de Articulos Generales del Japon



**Belgrano 847 - Buenos Aires**  
 U. T. 38 - Mayo 2718

# TINTORERIA

# "SAGA"

**MEXICO 1424**  
 U. T. MAYO 1259

# FAURE y Cia.

Importación directa de Ho-  
 landa, Bélgica, Francia, Ale-  
 mania, N. América, etc., de

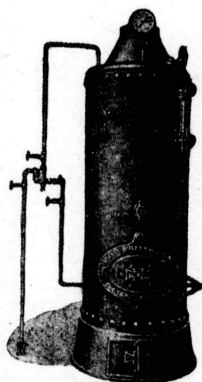
各種輸入販賣  
 BULBOS  
 PLANTAS  
 SEMILLAS EN GENERAL  
 PAPAS  
 VIDRIOS, Etc.

**Paseo Colón 560 - 68**  
 BUENOS AIRES  
 U. T. 1714, Avenida

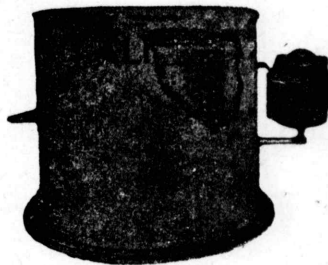
CALDERA LOOKOUT  
 De Construcción Vertical  
 y Horizontal

# ALFA-LAVAL S. A.

CENTRIFUGA ALFA  
 Accionada por Motor  
 Eléctrico



世界に名を博す  
 アルファ印洗濯器を  
 ティントレリア経営の日本人  
 諸君に御薦めいたします  
 服地の損傷皆無  
 時間の節約  
 最小限度の消費  
 その他あらゆる事に於て理想的  
 であります。市内有数のティント  
 レリアで使用せられ多大の好評  
 を受けて居ます



**CHACABUGO 599** U. T. 37, Riv. 4300 4302 **BUENOS AIRES**

重不然丁時報

夏季に於ける健康の保持

常に無病息災で尚ほ且つ長生きが出来るとしたふり誠結構事であり、...

優れた健康であれば元氣よく然かも愉快に活動が出来、これこそ人同本末の意義があるけれど、...

○邦人外人を切傷す 十二日前十時廿分アベニクアメリカニセニ八番の(ネラルミト)東台自動車、...

である。贅沢な美味な食物のみが一般である。只だ一夜の睡眠不足でさへ吾人は其翌日身心の疲労倦...

食物の必要は勿論下ら吾人は肉の存在を切つたり打つたりして痛むを感じない以上忘れてしま...

武市近郊盛業中のアルマ... 尋人 東条府人野村景次郎(因元り照念)...

主に丸 十二月廿日入港 一月五日出版

内外時報

二、英の紛争解決

(書府十日) 二國王暗殺の責任ありとの廉を以つてユーゴスラフ...

英の紛争解決

此の決定は英国内に於けるユーゴスラフ領向の秘密結社の潰滅を意味するが故に...

佛外相ラバルの

ローマ訪問

(パリ十三日) 前駐米大使上院外交委員長アンリ・ベランジェー...

退却のホ軍と

聯盟の媾和案

(アスンシオン十二日) バラグアイ国防省がエスタガリア將軍より得たる通牒によれば...

北米の戦時案

(華府十二日) ルーズベルト大統領は政廳に軍需工業家及び政府顧問達を招き...

御礼広告
私儀は貴社中は一方向から御敬待を預り衷心より御礼申上...

御案内

御案内
拝啓盛夏の御り各々益々御清栄之段奉賀矣...

JUGUETERIA "TORRO"

EL REY DE LOS JUGUETES
CORRIENTES 635
U.T. 31, Retiro 3754

ト一口玩具店へ

お子供様の玩具を御買求の節には價格低廉在庫品豊富...

rada
"ISTA"
4778
voto 1226
日本式あんま
鍼灸治療

社友会合して  
西語欄開設を祝す

去る十二日午後八時より本社  
友二十余名は料亭十萬に水野本社  
長、西語欄編輯長、藤原、藤原、  
社友、石田氏等と招待し西語欄新設  
を祝すため盛大な祝賀会を催し  
た。發起人代表として久慈氏の授  
けあり、続いて片山(不老)佐藤(金)  
児玉、松田五郎氏等の熱誠込めた祝  
賀の辞あり、其の内容は如何にも同欄  
の発展を期す所を期すこと、切  
實な進歩を期すこと、切  
實な進歩を期すこと、切  
實な進歩を期すこと、切

日本小学校五年卒業式

日本小学校にて去る九日午後  
三時より五年卒業式を日本人会  
館に於て挙行。君代二唱、北川  
校長より卒業證書及び賞状の授與  
の訓辭、定時、有本日会長の  
祝詞あり、在校生代表後藤リエさん  
の送辭に對して卒業生九名  
の代表として本田君代さんが答辭  
を述べ、式を閉了せしむる。卒業生  
は、大時閉会。卒業生は左の九名  
本田君代、本田隆一、小川敬夫、新  
村富子、土居綾子、明生とも子、  
美戸明、深田夏子、深田マリ子

中屋文学士動靜

さんとす九にて渡米せる国際文  
化振興会派遣の文学士中屋健次氏  
は、著武早々活動を開始し各新聞社  
を始め、日亞文化協会、武市大学官  
廳等に、一訪中、ふるが滞在約三ヶ月  
の予定にて、其間現在日亞西國が文  
化的に如何なる程度迄接觸しつ、  
あるや調査し又之れが積極的方法  
をも講究し併せて南米の工業を研  
究する。

藤原氏國際文化振興会の  
連絡員に任命さる

近衛公を総裁に置く國際文化振  
興会は、今回藤原健次氏を在亞國  
の連絡員に任命した。

さんとす九出帆

高船さんとす九は去る十三日午  
後四時出帆。船客、白沢俊士、  
熊本海協大ピクニック

熊本海協大ピクニック

熊本海協支店支部にては、未春正  
月六日南都線フルサコ取山口吉ニ  
即ち経営のキントウダグベにて、オ  
田大ピクニックを開催する事にな  
つた。

彫刻家武田氏後援会

帝展の彫刻部の中堅として活躍  
し一昨年来進んだ彫刻家武田君の  
藝道精進を後援する意味に於て  
山崎公使、宮腰領事等發起者とな  
る武田氏後援会が組織された。全  
費は一口百円であつて、會員には  
同氏の作品を頒布する由である。

宝塚カフを携へて来亜した  
加藤兵次郎氏夫妻

既述の如く、宝塚会館顧問の加藤  
兵次郎氏は夫人同伴にて日下滞在  
中、その加藤氏旅行の目的はアルゼ  
ンチン、タンゴの研究であつて同時  
に音楽に依つて日亞親善を図るべ  
く同会館と京都東山ホテル合同の  
銀製カフを携へて来り、亞細亞  
由家以への舟を経て一九三五年度  
傑作カフの作曲家(加藤)とするこ  
とに決つた。尚瑞武約十月の予定  
である。

コスミン救済團

コスミン救済團に就て  
リリーフア抽籤に就て  
先般来費り出してあるコスミン  
救済團のリーフアの抽籤期も愈々  
近づいたがコスミンから此際同團  
後助のため出来るだけ沢山の買ひ上  
げて貰ひ度く日会或は直接同團へ  
送金申込まれたしと希望して来た

新生のメンドサ州

先般来色々準備中であつたロス  
ノガレス果樹園に於ける新人青年  
の就働者を以て、親睦機關青年会は  
左記の役員を以つて成立し、来る十  
二月廿五日盛大なる青年会主催の  
一回の大運動会が挙行されること  
に決つた。名譽会長、田村一忠、  
会長、白鳥、副会長、長上、総務幹  
事、長小林

日東少年野球團

新リーグ二軍に参加  
最近頗る輝かしい戦績を見せてお  
る日東少年野球團は、今四新野球協  
会リーグのキニ軍に参加決定し、来  
る廿三日よりリーグ戦に出場する  
事になった。

野球リーグ戦の戦績

今朝日東サテライトカフコ軍は十二対  
八にて勝つ。

村武食堂開店

かまぼこ屋さんの村武氏は今回  
食堂を開き、宴会、ピクニック等の仕  
出し、辨當等の注文も應ずると、尚  
右はお武氏個人経営にて、山本氏  
は何等関係なしと。

入亭

▲福岡庄太郎氏去る十日午前八時  
アムンシオン市へ向けて帰途につか  
▲高田急喜氏(正金派遺)空路チ  
リ、經由滑朝  
▲沖田芳雄氏(永南商店)盲腸炎  
の手術を経て、十日退院  
▲右田綱助氏(本社員)足部負傷目  
下療養中経過良好  
▲本田哲代氏(同)より帰氏

S. ANDO y Cia  
IMPORTADOR  
Bdo. de Irigoyen 143, U.T. 38, 1402  
賣販入輸直貨雜  
會商東安

租國電報

臨時議會終幕の

貴院本會議

(九日聯合) 第六十六臨時議會終幕の貴院本會議は九日午前十時十五分開会。目的の災害予算が上提される事とて岡田首相、高橋蔵相を始め各閣僚全部出席。又議場は日曜日にも拘らず空席なく開会。復先づ災害予算を一括上提し柳沢子爵委員長より予算委員会の経過並びに結果を報告し、次に復疑に移り阪谷男爵壇、在滿機構の改革は從來の憲法に鑑み結構であると思ふが今後日本と滿洲國との間に滿鉄を撤んで紛争を起す様子があつてはならぬ。一体滿鉄の株は日支兩國以外は持たぬ事になつてゐるが日滿兩國の共同の利害を計る以上滿鉄の株を滿洲國にも持たせる様にせねばならぬと思ふ。政府は此を如何考へるか。

岡田首相、滿鉄株の改正は考究中であり、滿鉄の株を滿洲國に持たせる事は將來充分考へたいと思ふ。坂谷男爵より、速かに條例改正を行はれるやう努力をせよといふ。政府を鞭撻し、次で災害予算の討論に入り前田子爵臨時議會召集の遅延を責めた後、此の災害予算の内容を見せると僅少の土木事業費が

對滿事務局設置

(九日聯合) 岡田内閣の災害議會も愈々終了を遂げ茲に永い間店晒しとなつてゐた對滿事務局が六万円の予算を以て設置され内閣の直屬機關として生れ出で十九日の府本會議に上提せらる事となつた。尚同局の廳舎は當分の内務省旧廳舎を使用する事に決定した。が今後駐滿大使館に附屬する関東局と相呼應して對滿國策樹立の中核として活躍する訳で總裁は林陸相の兼任が確定的であり、之を扶くる文官次長としては現資源局長松井春生の呼声が高し何れにしても同局今後の活躍が期待される。

二億老千八百万円の災害予算成立

(九日聯合) 去る十一月廿七日召集の第六十六臨時議會は九日の午前中を以て最終の幕を閉じつゝに至つた。今期議會は其の目的が災害地救済にあつたもの、岡田内閣成立後最初の議會の事とて野黨政友会を始め各政党は一斉に政府施政の厳正批判に烽火を集中し政府も良く最後迄隠忍自重以て防戦に努め、最終の公期は再度に旦り延期され正味九日間及び式儀老千八百万円の災害救済予算を成立せしめたるを以て、水害に依る被害者に対する租税の減免法案、山作地に対する政府米臨時交付案等の実施を決定し、尚我が對滿國策

新任関東軍司令官南大將

(十三日聯合) 新任関東軍司令官南大將は十三日午前外務省に出席し、駐滿大使新任の挨拶外相を訪問、駐滿大使新任の挨拶を述べると共に、駐滿外相より對滿帝國重要外交方針の訓令を受け、追せり三五六年の國際危局に對し善処すべき、北鉄腹度交渉成立後の諸問題、日滿ソ連國境方

"TORRO" PASTRERIA TORRO 654-SARMIENTO-654 U.T. 35, LIBERTAD 1392 B. AIRES 品質本位 仕立入念 八十五ベソより トロ高等洋服店 市内サルミエント街六五四 ※此の広告切抜き御持参の方には一割引致します。

正月用食料品到着 鎌詰類 蟹 鮭 福神漬 天竺 紅生姜 干瓢

HORACIO E. ROSSI ESCRIBANO 公証人 民衆相談 商會 財產担保 土地管理 市内ディアゴナルノルテ エスクリトリオスオハ。 電話三五〇九〇五

305 1341 7284



### 亞国本年度の輸出總額

去る十一月亞国統計局が農收省に報告した所によると今年度十一月同月の亞国の輸出額は一三二八〇、〇〇〇ペソで昨年同月の一三二、〇〇〇、〇〇〇ペソに比して三、一五九、〇〇〇ペソ即ち三割一分五厘の増減である。此の増減の第一原因は農收林業の諸物産價が騰貴した爲であり、第二に輸出の量が増加するに至つたが爲である。即ち昨年の輸出總額は一、二五七、〇〇〇、〇〇〇噸であつたのが今年は一、一五九、〇〇〇、〇〇〇噸となつて居り、一割二分六厘の増減である。

### 漁船「カチヤロテ」行方不明

ガルデーグヤ会社の所有漁船「カチヤロテ」号は、昨日、ブエノスアイレスの港に於て、漁獲の目的を以て出帆してより既に十五日以上経過して居るが、未だに歸港せぬの爲に、何等の通信をも受取らなかつた。同会社及び水上署は捜索船、飛行機等を派して極力捜索に力をつけて居るが、行方不明、多分同船はブラジルの前海岸で沈没し、乗組員十七名は溺死した事であらうと推されて居る。

### 潜水練習所開設

潜航艇引上救助其他の目的の爲に近くマルデルプラータに潜水練習所が開設される筈であるが、其までは水雷艇「六号」を以て、奥地練習の用に當て北米にて研究せる專門家二名を教官として招き、學習期間一ヶ月を以て練習生に三百米の水深に於て作業し得る能力を習得せしめる豫定である。

### 伯亞国境に密輸入團横行

ブラジル税關長はボルゼンテンブラジルの國境、然にパソデロスリプレスには税關吏の牛薄、薄給なる事等を利用して密輸入團が横行して居り、同密輸入團は系統的組織の下に於て全國到處の沿岸諸港にも出沒し居るを發表して居るが、亞国税關長も亦、同じ様には完全に組織された密輸入團が、ラガイ及びバルトパラナ電氣、コリエンテス、バラレンケラに於て通運品其他を密輸入し居る筈を農收省に報告し、此が根拠として密輸入者に対する刑罰の重化を建議した。

### 亞国纖維工業の發展

九日のワシントン通信によると北米通商局は世界不況中に亞国に於ける纖維工業が發達し来た結果、北米品の同國への輸入は減少するに至つたと發表して居る。

### 澤田駐伯大使 赴任に當つての感想

澤田新任駐伯大使は十一日出発に先立ち左の如く語り、一任命から赴任まで相当時間があつたので、出發前に各方面との種々の準備工作は充分に盡した積りである。亞中日本とブラジルの間の當面の問題は通商關係の進行であるが、信託、實業、農方面とも隔意なき意見の交換を遂げたが、今後共ギブ、アランドテークの方針を以て兩國の通商關係に善処し度い考へた。通商關係の進行が具體化され、ば、よし移民制限其他の問題があるとして、ブラジル本來の対日感情は極めて良好だと云ふ事だから政治問題其他一切の問題は必ず局面上に新展開が期待されると信する。

**G. Gonzalez**  
MORENO 1357, U.T. 32, 5423  
ホフマン印、プランチヤ機、並に各種材料の、カルデーラ、廉價に取付修理、其他一般機械の修理、の御用命を願ひます、前ホフマン、機、械、士、G. Gonzalez

ホフマン印、プランチヤ機、並にカルデーラの修繕、取付一切迅速廉價に引受け、ホフマン、機、械、士、トリビオゴメス、指定機、械、士、Carlos Calvo 1159, U.T. 23, 4364

**Dr. J. LUTZKY**  
ALSINA 2474, U.T. 47, 5329  
ホフマン、機、械、士、トリビオゴメス、指定機、械、士、Carlos Calvo 1159, U.T. 23, 4364  
ホフマン、機、械、士、トリビオゴメス、指定機、械、士、Carlos Calvo 1159, U.T. 23, 4364

**MEDICINAL NEWS**  
28-SUIPACHA-28  
淋病梅毒、短期間で有効確實治療法、治療代は月賦十ペソ、肺結核新療法、治療代は全治後に頂きます、婦人科、X光線科、電氣治療科等、各科専門医十名、西英佛語を話す女医が居ります

**LA PAMPA**  
Gran Deposito de Bolsas y Lenzos, nuevos y usados  
キンタ用、新古ホルサ、フリエンソ、フンコ、アイロ、其他一切の御用命に應ず、値、格、安、中、村、商店、CABILDO 286, Avellaneda

内務省免許、助産婦、羽生糸、産婦人科専門医を顧問とする、産室の設けあり、在診午後一時より九時迄、市内メトロ、街、二、四、二、テルタメント、オ、八、八、電話(西)三、三、八、八



コルドバ州

カラムキータ盆地に於ける

林檎栽培 (三)

コルドバ州 大島俊一

左に私が希望して居るコロニアに於て書いて見ます。

一 面積百町歩

二 一區十町歩として十家族入植

三 地價は買値の倍値に見積る事

四 道路建設及び維持は入植者の共同作業による事

五 入植者は十五百ペソ及至二千ペソの入植費を持つ事

六 入植者は妻帯者たる事

七 入植者は初年少くとも三町歩の林檎を植へる義務を有する事

八 元利支拂方法一最初六ヶ月間は無利子無年賦、七ヶ月目から更に増額に對して一三三割の年賦を支拂はす事

九 選定に年八分の利子を支持する事

以上。

右は資本家の援助によるものと

して作つたので有りませんが共同に出資しても同じ様な規定を設ける

四等が出来れば居ります。

勿論他に実行細則が必要で、

百町歩只今で一万ペソ及至二万ペソでありませう。十年を経て林檎

が多産時代に入れば少くとも一町歩五千ペソの價値があり、五十万

ペソに近い資本が十家族によつて

經營される訳で年費上高

は町当り一十ペソ即ち合計

計十萬ペソを下らないや

せう。此は私の見てゐる

夢でも何でもない。否、私

は其以上であると思つてゐ

る次第です。

獨逸は林檎で有名な國である。

獨逸人は誰れ知らぬ間にカラムキ

ータに入つて植民地を作つてゐる。

其は一資本家の投資に依つて出来て

居る一町歩三百ペソで賣つてゐる。

而してマリスを作り煙草を作り、

營々として主作林檎を植込んで行

つて居る。早コロノ相キカアルマ

センガコロニアには出来てゐる。

サンタローサに獨逸人のホテルも

ある。サンタローサがかりオテル

セルの人工湖まで目下国道を建設

中であるが其の沿線は實に景色の

好い所である。獨逸資本は早くも其に目

を付けて沿道を賣つてゐる。町

其の方々は廣い面積の管理に馴れ

て居る。私は諸兄が現在林檎園

經營の爲に押して居る資本と努力

（其の時によつて其の後に價値が

けりぬない）を私が今説明して居

る。林檎栽培方面に向つて居る方

は必ずや会心の笑を洩らさる時

があると思ふ。野菜物を作るに

はどんな事でも出来ると思ふ。事

實にコルドバで野菜作りをして

居るので大休想像する事が出来ま

す。当地は四五年以來生産過剰の

結果殆んど野菜物の値があまりに

人。原因は種々ありませうが結局需

要供給の不平衡による生産過剰で

ある。値があつてない様なもので

ある。六十キロ前後入つたパーバ

の袋を八十個で賣らねばならぬ

時がありませう。四十キロ内外の

パーバ一袋が四五十個である。四五

キロのパーバ一袋が一打十個、残つ

たものは打十個で賣つて賣つて其

でも買手があれば良い方である。

レチユ、ガが一リエンソ（大きい

のは五六打、小さいのは十打）十個

野菜を賣るとメルカードへ行

損をして歸る時がある。賣上がスト

低想像がつかませう。賣上がスト

に達しない時である。武市附近は

此程でもないでせうが、此に似た様

な時代が来ないとも限りない。そ

んな時はペオンの力で大きく栽培

して居られる人々程打撃が非道い

生産過剰は實に悲惨である。子供

七八人の親であつて夫婦諸共子供

を一箱に一中收獲してメルカー

ドへ持つて来たが安いアリーナ一

袋買ふ事ができなると云つて近隣

になつて居るキンテロロが居た。

彼等には土地代はおろか食つて行

くのさえヤツとである。而して終

は地主の爲に馬や農具までも取り

取つてしまふのである。私は小麥

の世界的生産過剰に苦しむ農民の

境遇が明かに想像できます。北米

等で土地を持ち家を持つてゐるコ

ローノが毎年家も土地も失つて行

くの何の不思議もない。林檎栽

培は野菜物を作る事に投機的な考

へでは失望されるかも知れない。

何故なら其の價の変動が蔬菜の其

の概ではない。又量よりも質を考

へねばならぬから自分の管理出来

る範圍以上に多く作る事は考物で

ある。然し確率に於ては蔬菜園の

比ではない。コロニア實現の方法に

於ては各人各々の希望がありませ

う。資本家の出資によるにしても

共同出資によるにしても、産業組合

の様なものを作つて組織を完全に

し宛然一家族の如く共助して事に

當る必要がある。事業の成否は其

處にあると思ふ。思は付いた事を

噴き出す書きつらぬまじ下が御

判読を乞ふ。副業に於ては他日紹

介する事があると思はれます。(完)

J. Ma... "MAS" Concord U.T. Villa... 山田忠重

日本菓子 製造販賣 松福堂菓子店 店主 松尾好一 市内サンホセ一街一五九一

Dr Oscar Rodriguez 親切丁寧 日本人の方には特に御便宜を計ります ドクトル オスカル ロドリゲス MONTES DE OCA 1919 U.T. 21-BARRACAS-0745

東京歯科 醫學士 國分鉄藏 左記に於て齒科診療の御相談に應じます ドクトル エドアルド・キンテロヤ 齒科病院 市内ロドラス街六九二 電話(三三)アニター二四。



コルドバ州  
ウンキージョ  
ホテル「プラザ」  
川端 嵩

SIERRA DE CORDOBA  
**Hotel "PLAZA"**  
DE  
**Juan Kawabata**  
QUINTA JAPONESA  
UNQUILLO (F. C. C. C.)

御下宿  
**末廣館**  
市内パリス街九番  
電話(三三)フナルデ  
五七三五番  
尾崎幸千代



U. T. 28 B. ORDEN 5735



**Mate**  
los pulgones

de los rosales, crisantemos y demás plantas de su jardín, frutales hortali- zas, etc. utilizando **Sulfatina O. W.** que los fulmina en el acto sin dañar ni manchar las plantas.

El tarrito para 100 litros de agua \$ 2.-  
Pida folleto con instrucciones



**HARTENECK.**  
SA  
Perú 399-B. Aires

**松堂商店**

豆腐、こんにやく  
製造販売

多少に不物配達致します

市内カリフォルニア街二一八四  
電話(三三)バラカス 一四〇一

松堂秀正

Tintoreria "EL TOKIO"  
DE  
**ADOLFO K. OTSUBO**

大坪喜義

Rivadavia 5202  
U. T. 4738 Caballito

**CAFE "TOKIO"**  
DE  
**M. K. Miura & Cia.**

Casa Central  
MERCEDES (Ba. Aa.) - U. T. 191

Sucursal  
JUNIN (F. C. P.) - U. T. 198

カミ 東京  
三浦 合資商店  
本店メルセデス市  
支店フニン市

**A. MENDEZ**  
TALLER MECANICO  
**Calle VERA 737**  
U. T. Darwin 1108



カルボンナフタ又はガス洗機  
乾燥機(手廻し又はモートル)  
其他洗濯機機の修繕に應ず

**CAFE y CERVEGERIA**  
**La "SATUMA"**

有水武二  
久松純雄  
竹内武義  
加藤吉隆

Gral. Hornos 54  
BUENOS AIRES

U. T. 23 - 0526

自宅出張撮影  
複寫引伸し  
如何に古い寫真でも引  
受けます。  
市内サルタ街一五八  
電話リパダビヤ五七〇四  
寫真師  
佐藤貞則

**ALMACEN**  
**NISHISAKA**

Calle Australia 1101  
U. T. 2915, Barracas  
**BUENOS AIRES**

味噌 醸造  
醤油 醸造  
たんあんその他香りの物  
西一報次第  
配達、ご希望  
アウストラリア街  
一〇一〇番  
雜穀食料品高  
西坂貞本

御旅館  
御料理  
**昭和館**

館主 松本春裕

市内コリエンテス街二五二九番  
電話(四七)クローヨ 八七六三番

◎清潔・安値・親切。  
カフー店就職希望の方には特に  
御便宜を計ります。

**DARUMA TEI**  
**CHACABUCO 770**  
U. T. 8248, Avenida

井物一品料理仕出し  
すし、かまぼこ、饅頭、賣出し  
定食、下宿料共に値下げ  
致しました。  
だるま亭  
松田清市  
千ヤカフコ街七七〇  
電話(〇三四三)アムニ  
出産、御贈禮等の松餅  
作注文に應じます。



## Representación Diploamtica

El Japón está representado dignamente en la Argentina. El Ministro Yamasaki es una personalidad destacada en los círculos diplomático y social de esta gran metrópoli. La exquisita cultura del ministro japonés, su vasta ilustración y la gran simpatía que profesa para con la Argentina, son motivos de frecuentes conversaciones entre los argentinos. Es altamente apreciada, además, la actividad del representante oficial del Japón, que trata por todos los medios de fomentar el intercambio comercial de los dos países. El Ministro de Relaciones Exteriores, Dr. Carlos Saavedra Lamas, ha expresado públicamente en varias ocasiones, su admiración por la labor eficaz del Ministro del Japón, elogiando su táctica diplomática, que calificó de modelo de la escuela moderna. La organización de la Comisión para el estudio de los mercados del Oriente se debió, dijo, a las gestiones del señor Ministro Yamasaki.

No obstante esta situación feliz del presente, volvemos hoy sobre la necesidad imperiosa, según hemos estudiado en otras circunstancias, de elevar la legación japonesa de Buenos Aires a la categoría de embajada, porque así lo exigen la importancia internacional de las dos naciones y la usanza diplomática implantada en ambos países, que venen creadas embajadas en otros países.

Podría tomar la iniciativa el Gobierno del Japón, para ponerse de acuerdo con el Argentino que, de seguro, no hará sino corresponderle, pues, a nuestro juicio, ello no sería más que la exteriorización oficial del respeto mutuo que existe de hecho.

Insistimos, por lo tanto, que si el Brasil merece tener una Embajada Japonesa, la Argentina no puede contentarse con una Legación. Pensar lo contrario, equivale a desconocer la verdadera situación de la Argentina en el continente Sudamericano.

## Adaptate al Uso del Lugar

"GO NI ITEWA GO NI SHITAGAE"

"Go ni itewa go ni shitagae" es un proverbio japonés, cuyo significado lo posee casi todos los idiomas. Equivale, ni más ni menos, a este otro: En Roma a lo Romano.

En los países nuevos, en donde hay grandes movimientos migratorios, que necesitan de esa contingencia para ir poblando sus territorios desiertos, esperan y exigen el cumplimiento de aquel espíritu de adaptación, porque desean que los nuevos pobladores se conviertan en buenos ciudadanos, si no precisamente en forma legal, por lo menos, espiritualmente; mientras que todos los extranjeros que moran y labran su vida en estos suelos hospitalarios, están obligados a obrar consecuentemente. Más aún: nosotros, los residentes extranjeros debemos aprender a amar esta tierra; respetar sus leyes y costumbres y colaborar con lealtad para el bien de la nación que nos protege.

Es innato al hombre encariñarse con la tierra en que vive, razón que explica el origen del patriotismo, y es lógico suponerse que toda persona bien intencionada puede llegar a querer al país que le ha proporcionado su bienestar o que ofrece oportunidades para que se asegure su felicidad. En ningún momento debe, el extranjero, olvidarse su condición de tal que le obliga a recordar la gratitud que es deudor.

Para corresponder mejor a la bondad nacional, del gobierno y pueblo de esta nación, es menester adaptarnos al ambiente e instruirnos más, para enterarnos de la historia, geografía y literatura de este país; así nos pondremos en igualdad de condiciones con los nacionales, ya que las leyes nos acuerdan las mismas liberalidades y derechos de que ellos gozan.

No imitemos a ciertos extranjeros que continúan viviendo la vida casi aislada, a pesar de tener intereses cuantiosos comprometidos por sus negocios y demás ocupaciones, que miran a los nativos con desprecio. Esos elementos son indeseables para el

## La expansión del idioma español

El español es uno de los más grandes idiomas cultos de la tierra y al que le está reservado el mejor porvenir, pues se habla en países todavía muy escasamente poblados y aptos, por consiguiente, para experimentar grandiosos aumentos en su población.

Actualmente más de 100 millones de hombres hablan el idioma castellano. He aquí la lista que reproducimos de una publicación de nuestro colega "La Razón" de esta capital:

España	23.817.000	(1930)
Méjico	16.404.000	(1930)
Argentina	12.500.000	(1933)
Colombia	8.233.000	(1930)
Perú	6.237.000	(1930)
Chile	4.287.445	(1930)
Cuba	3.962.344	(1931)
Venezuela	3.216.000	(1933)
Bolivia	2.975.000	(1929)
Guatemala	2.700.000	(1930)
Uruguay	2.300.000	(1933)
Ecuador	1.532.500	(1926)
Puerto Rico	1.543.913	(1930)
El Salvador	1.459.579	(1930)
Nicaragua	1.250.000	(1930)
Santo Domingo	1.200.000	(1930)
Honduras	1.000.000	(1930)
Paraguay	1.000.000	(1928)
Costa Rica	515.000	(1930)
Panamá	467.459	(1930)

## La Ley Moratoria es Constitucional

La Corte Suprema de la Nación declaró en su acuerdo del día 7 del corriente, que es constitucional la ley de moratoria hipotecaria, cuya sanción despertó explicable expectativa pública.

La sentencia expresa que la ley 11741 se refiere a los contratos existentes a la fecha de su sanción y que por ello se dice que la irretroactividad de las leyes en materia civil no es un principio o garantía constitucional, sino del Código Civil, artículo 3.º, que el Congreso puede derogar cuando el interés general lo exija. Es de advertir, agrega, que esa facultad de legislar hacia el pasado no es ilimitada, desde que so pretexto de legislar no podría violarse la garantía de la propiedad, tal como la consagra el artículo 17 de la Constitución".

Después de examinar el alcance de la garantía del derecho de propiedad, el criterio de la Corte Argentina para con las leyes de alquileres, de Orden público y la ley de moratoria y el estado de emergencia producido por fenómenos económicos, La Corte, de acuerdo con el dictamen del procurador general de la Nación, revoca la sentencia de la Cámara 2ª, que confirmaba la de la Cámara 1ª, y en consecuencia, declara que la ley 11.741 NO ES REFUGNANTE A LA CONSTITUCION NACIONAL EN NINGUNA DE LAS DISPOSICIONES IMPUGNADAS.

país. Pero peor resulta aquel que, por no conocer el idioma del país, prefiere mezclarse con aquellos forasteros y se entera de las cosas de éste por su intermedio y por las informaciones que le suministran los periódicos en idioma extranjero que se publican en esta capital.

El conocimiento del castellano es una condición infaltable para todo extranjero que quiera vivir y triunfar en este ambiente. La Argentina no es colonia de ningún país. Es una nación libre e independiente, digna de todo respeto, que ofrece facilidades para labrar la fortuna a todos los hombres de la tierra que quieran habitar su suelo, con buena voluntad para el trabajo.

Para corresponder, repetimos, a esa condición especialísima del generoso pueblo argentino, no podemos menos que procurar ser buenos habitantes y ciudadanos del país, amándolo y defendiendo sus intereses y prestigios a la par que asegurándonos nuestro propio bienestar.

## Cámara de Comercio Japonesa en la Argentina

Sin más objeto que el de facilitar a los interesados que casi diariamente nos inquieran acerca de la Cámara Japonesa, creemos conveniente informarles lo siguiente:

La Cámara Japonesa de Comercio, formada por los comerciantes japoneses radicados en esta capital, vinculada y reconocida por las autoridades e instituciones japonesas y argentinas, es la que funciona en la Avenida Roque Saenz Peña 616, cuarto piso, con el nombre de Cámara de Comercio Japonesa en la Argentina.

### LA AGRUPACION JUAN B. JUSTO ESTRENARA UNA OBRA JAPONESA

La agrupación Juan B. Justo, grupo de aficionados que ofrece periódicamente y con un propósito de novedad artística, representaciones escénicas, anuncia para hoy sábado 15 del corriente, en el salón de La Fraternidad, la pieza en tres actos, del autor japonés Tanizaki Junichiro, titulada "Amor". Según anuncia dicha asociación, será ésta la primera vez que se representará en América del Sur esa obra que es un sutil estudio del sentimiento amoroso, a través de distintos temperamentos, y que será montada con propiedad de vestuario y matizada con música japonesa, especialmente elegida con este objeto.

### SE PROYECTA LA CREACION DEL PASAPORTE DE TURISMO ENTRE NACIONES DE AMERICA

La comisión organizadora de la próxima conferencia panamericana de comercio, a realizarse en nuestra capital, ha dado a conocer un proyecto, que se refiere a la creación de un pasaporte panamericano de turismo mediante un acuerdo firmado por los gobiernos.

Dicho pasaporte sería expedido por cada país para sus ciudadanos nativos o naturalizados y extranjeros con residencia de más de dos años que comprobaran su solvencia moral y pecuniaria. Sería reconocido, sin trámite de visación consular, por todas las naciones signatarias de un acuerdo, al que se llegaría para hacer efectivo el proyecto.

### KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI (Sociedad para el desarrollo de las Relaciones Culturales Internacionales).

Ha sido organizada en abril del corriente año, en la ciudad de Tokio, una institución que se denomina: Kokusai Bunka Shinkokai.

La Sociedad está presidida por Su Alteza el Príncipe Ayamaro Konoe y forman parte de la Comisión Directiva de la misma, numerosas personalidades de la nobleza, políticos, académicos y hombres de negocio conocidos del Imperio.

He aquí sus objetos, según el folleto impreso por la misma:

- 1.) Publicación de obras de ciencia, arte y literatura, con fines de propaganda cultural en el exterior.
- 2.) Establecimiento de cátedras, envío e intercambio de profesores.
- 3.) Organización de conferencias, exposiciones y conciertos.
- 4.) Donación e intercambio de datos relacionados con la cultura.
- 5.) Invitar a las personalidades extranjeras insignes para que visiten al Japón o concederles facilidades para su realización.
- 6.) Facilitar a los extranjeros para el estudio de la cultura oriental en general.
- 7.) Envío e intercambio de estudiantes.
- 8.) Relacionarse con otras organizaciones afines o individuos que participen del movimiento cultural.
- 9.) Filmar películas cinematográficas y dirigir o ayudar a sus productores.
- 10.) Fundar y administrar casas para la Sociedad. Bibliotecas, Salas de estudios, etc.

**Radio Cultura** Audición especial de la  
OSAKA SHOSEN KAISHA

**L. R. 10** De 10.10 a 10.20 horas.  
Todos los Domingos:

## NOTICIAS

### LA DIETA IMPERIAL (Teikoku Gikai)

TOKIO, Diciembre 10 (United). — La sesión especial de la Dieta fué clausurada después de aprobarse créditos especiales por 211 millones de yens destinados a ayudar a los menesterosos y aquellos que sufrieron a consecuencia del desastroso tifón del verano y las condiciones atmosféricas que han azotado al país.

El período regular de sesiones de la Dieta comenzará el día 23.

### EL RECONOCIMIENTO DE MANCHURIA

HSIN-KING, 9 (H.). — El reconocimiento tácito de Manchuria por numerosas potencias se manifiesta por la cifra elevada de las marcas de fábrica registradas en este estado, después del 20 de noviembre de 1933, fecha de promulgación de la ley manchuriana sobre marcas.

Desde esa fecha hasta el 20 de noviembre pasado, el Japón hizo registrar 12.402 marcas, Gran Bretaña 1154, los Estados Unidos 963, Polonia 1, Alemania 1147, Francia 255, China 73, Canadá 11, Italia 15, Suiza 97, Suecia 8, Noruega 5, Holanda 28, Austria 2, Filipinas 5, Dinamarca 11, Unión Soviética 11, Checoslovaquia 18, Cuba 4, Lituania 2 y Australia 3.

### EL PROBLEMA NAVAL

SAN FRANCISCO, diciembre 9 (Especial). — El primer llamamiento telefónico comercial transpacífico fué hecho por el representante de la United Press en ésta, señor Ray Marshall, quien solicitó al señor Matsuo sus impresiones sobre las conversaciones navales que se realizan en Londres.

El funcionario japonés hizo las siguientes declaraciones al respecto:

"Las conversaciones del desarme naval de Londres no son muy promisorias por el momento, pero no desesperemos. Lo que Estados Unidos trata de conseguir es la paz, y el Japón trata de conseguir lo mismo.

"Con este punto común en vista, si no encontráramos la solución al problema de los armamentos, resultaríamos dos grandes insensatos. Estados Unidos y Japón, junto con Gran Bretaña, están destinados a determinar las características de la civilización del Pacífico.

"Tenemos el deber con la humanidad de encontrar el camino a la paz del Pacífico a toda costa. La confianza mutua, en vez de los recelos, es la guía para encontrar ese camino".

(De "La Prensa")

### EL JAPON MANTENDRA LA PAZ EN EL EXTREMO ORIENTE, DIJO EL EMBAJADOR SAITO

Filadelfia, diciembre 10 (United). —

Después de haber pronunciado un discurso en un centro cultural de esta ciudad, el embajador del Japón en Estados Unidos, señor Saito, entrevistado por los periodistas, declaró que el Japón resistirá, "con todas sus fuerzas y hasta llegar al suicidio nacional", cualquier tentativa de parte de Estados Unidos y la Gran Bretaña tendiente a impedir por la fuerza que el Japón cumpla su propósito de mantener la paz y el orden en Extremo Oriente.

"El verdadero propósito del Japón —agregó— es el de establecer en Extremo Oriente el reinado de la ley y el orden. Teniendo tal objetivo, se sigue que no podremos permitir ninguna perturbación extraña a la paz del Extremo Oriente, que es más vital para nosotros que para las potencias occidentales".

A la pregunta de qué haría el Japón en la eventualidad de que los Estados Unidos e Inglaterra se opusieran a tal política, contestó:

"Considero imaginaria tal situación, pero en caso de que se produjera, nosotros, naturalmente, resistiríamos a todo trance".

A la pregunta de que si con ello significaba llegar hasta el punto de un suicidio nacional, dijo:

"Sí. ¿Qué otra cosa podríamos hacer en defensa de lo que creemos que es justo y razonable?"

### JAPON DENUNCIA EL TRATADO NAVAL DE WASHINGTON

TOKIO, diciembre 11 (United). — Una comisión del consejo privado del imperio resolvió dar por terminada la vigencia del tratado naval de Washington, y prepara actualmente las conclusiones que al respecto serán presentadas al consejo en pleno en su reunión del 19 del corriente.

El comité analizó detenidamente el asunto con los funcionarios del ministerio de Relaciones Exteriores, antes de pronunciarse sobre el mismo. Se considera seguro que el embajador en Washington, vizconde Saito, recibirá instrucciones para notificar la denuncia del tratado, el día 20.

### EL ASUNTO DEL PETROLEO DE MANCHUKOO

Un funcionario del Ministerio de Relaciones Exteriores del Japón, refiriéndose a las últimas protestas anglo-americanas sobre el monopolio petrolífero establecido en el Manchukoo, aseveró que el Japón siempre ha mantenido la política de "puertas abiertas", pero que podría asegurar que las naciones occidentales han violado esa norma.

Las potencias occidentales pretenden manipular los asuntos internos de las naciones débiles del oriente y están siempre listas para protestar cuando no pueden satisfacer sus intereses. Mas el Japón está dispuesto a poner reparo a todos esos abusos y hará respetar la soberanía de las naciones libres e independientes.

### SERVICIOS TELEFONICOS ENTRE JAPON Y LOS ESTADOS UNIDOS

Washington, diciembre 7 (United).

Hoy se inauguró el primer servicio telefónico directo entre las ciudades de Washington y Tokio. Cambiaron saludos de cordialidad los cancilleres Hirota y Cordell Hull.

### TRENES VELOCES

TOKIO, diciembre 4 (Rengo). — Siguiendo el ritmo del progreso que tiende a reducir las distancias en este mundo de aviones, las empresas navieras y ferroviarias tratan de dar mayor velocidad a los trenes y vapores. El ministerio de Ferrocarriles del Japón, acaba de resolver la construcción de locomotoras ultramodernas que correrán a razón de 120 kilómetros por hora.

### EMBAJADOR EN VIAJE

TOKIO, diciembre 11 (Rengo). — El nuevo Embajador del Japón en el Brasil, señor Sawada, ha salido de Tokio el 11 del corriente, hacia Rio de Janeiro.

### NUEVO PARTIDO POLITICO

TOKIO, 13 de diciembre (United). — El presidente de la Cámara de Representantes, señor Kiyoshi Akita, que acaba de presentar la renuncia de su cargo, anunció su retiro del partido Seiyukai y la formación de un nuevo partido, que apoyará al Gabinete actual presidido por el Almirante Okada.

### CONFERENCIAS

El Dr. Tomás Amadeo, miembro de la Comisión de Estudio del Comercio con el Extremo Oriente, dictará sobre "La Ruta Comercial del Oriente", el martes 18 del corriente a las 17.30 horas en el Salón de Actos de la Bolsa de Comercio.

—G. Yoshio Shinya, sobre "El Japón, Institucional", próximamente, en la Facultad de Derecho y Ciencias Sociales de la Universidad de Buenos Aires.

### EL "TANGO" ESTA DE MODA EN EL JAPON

Se encuentra en Buenos Aires el Director Consejero de la Empresa Teatral de Takarazuka, de Kobe, Japón, señor Kato, que permanecerá en ésta algunos meses, tiempo que dedicará para estudiar la música y baile del "Tango" que está en boga en todos los centros urbanos del Japón.

El señor Kato es portador de una copa de plata que se destinará como premio del concurso musical de Tango, para adjudicarlo a la mejor producción del año 1935, cuya organización estudiará con la cooperación de la Sociedad de Autores Musicales de esta Capital.

### VOCES AMIGAS

(De "La Razón")

"La dirección del ARGENTIN DJIJO, periódico japonés que se publica entre nosotros, y que se distribuye entre la colectividad japonesa, con el propósito de estrechar más los vínculos culturales y comerciales con nuestro país, ha editado una sección en castellano. Esta sección, dedicada con especialidad a los pequeños argentinos, hijos de japoneses, tiene el propósito de ilustrarles acerca de la patria de sus adios, fomentando entre los mismos el culto espiritual y el intercambio artístico y comercial.

Sus columnas, abiertas a todos los argentinos amigos del Japón, reflejarán en todo momento una amistad que ya es inalterable".

(De "El Cronista Comercial")

"El periódico el ARGENTIN DJIJO, órgano de la colectividad japonesa en nuestro país ha anexado a sus páginas una sección castellana que facilitará la vinculación argentino-nipona.

En la interesante nueva sección que trae su último número figura un autógrafo del contraalmirante M. Domecq García, y un enjundioso artículo firmado por el señor G. Yoshio Shinya."

### SERMONES LAICOS DE JOSE INGENIEROS

#### Dedicados a la Juventud de la América Latina

El Dr. José Ingenieros, malogrado profesor, sociólogo erudito, patriota eximio, que amó y vivió por la juventud, ha dejado obras inmortales. Fué un pensador de estirpe Emersiano, algo por el estilo de Soho Tokutomi del Japón.

Los sermones laicos cuya publicación iniciamos hoy, están reunidos en un tomo con el título de "Las Fuerzas Morales", publicado como obra póstuma en 1926.

#### De la Juventud

2 — Jóvenes son los que no tienen complicidad con el pasado. Atenea inspira su imaginación, da pujanza a sus brazos, pone fuego en sus corazones. La serena confianza en un Ideal convierte su palabra en sentencia y su deseo en imperio. Cuando saben querer, se allanan a su voluntad las cumbres más vetustas. Savia renovadora de los pueblos, ignoran la esclavitud de la rutina y no soportan la coyunda de la tradición. Sólo sus ojos pueden mirar hacia el amanecer, sin remordimiento. Es privilegio de sus manos esparcir semillas fecundas en surcos vírgenes, como si la historia comenzara en el preciso momento en que jorjan sus ensueños.

Cada vez que una generación envejece y reemplaza su ideal por bastardeados apetitos, la vida pública se abisma en la inmoralidad y en la violencia. En esa hora deben los jóvenes empuñar la Antorcha y pronunciar el Verbo; es su misión renovar el mundo moral y en ellos ponen su esperanza los pueblos que anhelan ensanchar los cimientos de la justicia. Libres de dogmatismos, pensando en una humanidad mejor, pueden aumentar la parte de felicidad común y disminuir el lote de comunes sufrimientos.

Es ventura sin par la de ser jóvenes en momentos que serán memorables en la historia. Las grandes crisis ofrecen oportunidades múltiples a la generación incontaminada, pues inician en la humanidad una fervorosa reforma ética, ideológica e institucional. Una nueva conciencia histórica deviene en el mundo y transmite los valores tradicionales de la Justicia, el Derecho y la Cultura. Intérpretes de ella, los que entran a la vida siembran fuerzas morales generadoras del porvenir, desafiando el recrudescer de las resistencias inmorales que apuntalan el pasado.

Los jóvenes cuyos ideales expresan inteligentemente el devenir constituyen una Nueva Generación, que es tal por su espíritu, no por sus años. Basta una sola, pensadora y actuante, para dar a su pueblo personalidad en el mundo. La justa previsión de un destino común permite unificar el esfuerzo e infundir en la vida social normas superiores de solidaridad. El siglo está cansado de inválidos y de sombras, de enfermos y de viejos. No quiere seguir creyendo en las virtudes de un pasado que hundió al mundo en la maldad y en la sangre. Todo lo espera de una juventud entusiasta y viril.

### POEMAS ANTIGUOS DEL JAPON

#### De la Brevedad de la Vida

(DE LA COLECCION MANYOSHU)

Mirando el mundo en derredor  
Veo la eterna naturaleza:  
Ya se alza en sierras majestuosas,  
Ya se agita en inquietos mares;  
Mas, sólo la vida del hombre,  
Lleva una señal: mortalidad.

#### VANITAS VANITATUM

(DE LA COLECCION KOKINSHU)

Vana es la letra que se marca  
En la espumosa agua del río;  
Más vano tu amor, si ella nunca  
Jamás con tus besos sonó!

#### ORGULLO PATERNAL

(DE LA COLECCION MANYOSHU)

¿Para qué me sirven los tesoros:  
Diamante, oro, plata o cobre puro?  
Goces más nobles y dulcísims  
Me los dan mis hijos y mis hijos.

NOTA — Manyoshú: Colección de diez mil hojas; la antología más antigua del Japón compuesta de 20 volúmenes, compiladas en el año 757.

Kokinshú: Colección de Poemas antiguos y modernos, publicado en 905.

(x) De la versión inglesa de A. Lloyd, tomada de la obra en alemán del Dr. Karl Florenz, ex Profesor de la Universidad Imperial de Tokio, traducida por "Sam Ray".